

株式会社FOOD & LIFE COMPANIES

2022年度第1四半期

決算説明資料

2022年2月10日



FOOD & LIFE
COMPANIES

[連結] 業績ハイライト (セグメント別) FY21/Q1 対比

- 国内スシロー事業：前年同期比では、一過性の有利買付効果がなくなり、増収なるも減益となった。
- 海外スシロー事業：新型コロナによる規制が、前年同期に比べ多少緩和され、売上が改善。地域別の優劣はあるも、海外スシロー事業全体で増益（黒字化）となった。
- その他事業：店舗数は増加。EBITDAマイナス幅を抑えつつ、新型コロナ規制解除後の需要回復を待つ状態は変わらず。

(単位: 百万円)	国内スシロー事業			海外スシロー事業			京樽事業			その他事業		
	FY21 Q1	FY22 Q1	増減率 (増減数)	FY21 Q1	FY22 Q1	増減率 (増減数)	FY21 Q1	FY22 Q1	増減率 (増減数)	FY21 Q1	FY22 Q1	増減率 (増減数)
売上収益	55,521	57,424	+3.4%	3,538	7,493	+111.8%	—	5,708	—	471	977	+107.4%
営業利益 (ロイヤリティ支払い前)	7,287	4,762	▲34.7%	▲121	605	—	—	▲467	—	▲217	▲233	—
減価償却費及び償却費	3,462	3,842	+11.0%	517	840	+62.5%	—	384	—	73	86	+17.8%
減損損失	30	292	+873.3%	96	72	▲25.0%	—	303	—	84	130	+54.8%
EBITDA	10,749	8,604	▲20.0%	396	1,445	+264.9%	—	▲83	—	▲144	▲147	—
店舗数	571	626	(+55)	41	64	(+23)	—	290	(+290)	30	47	(+17)

* EBITDA：営業利益に減価償却費及び償却費を調整

** 連結合計営業利益とセグメント別営業利益の合計の差額は、主にセグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用

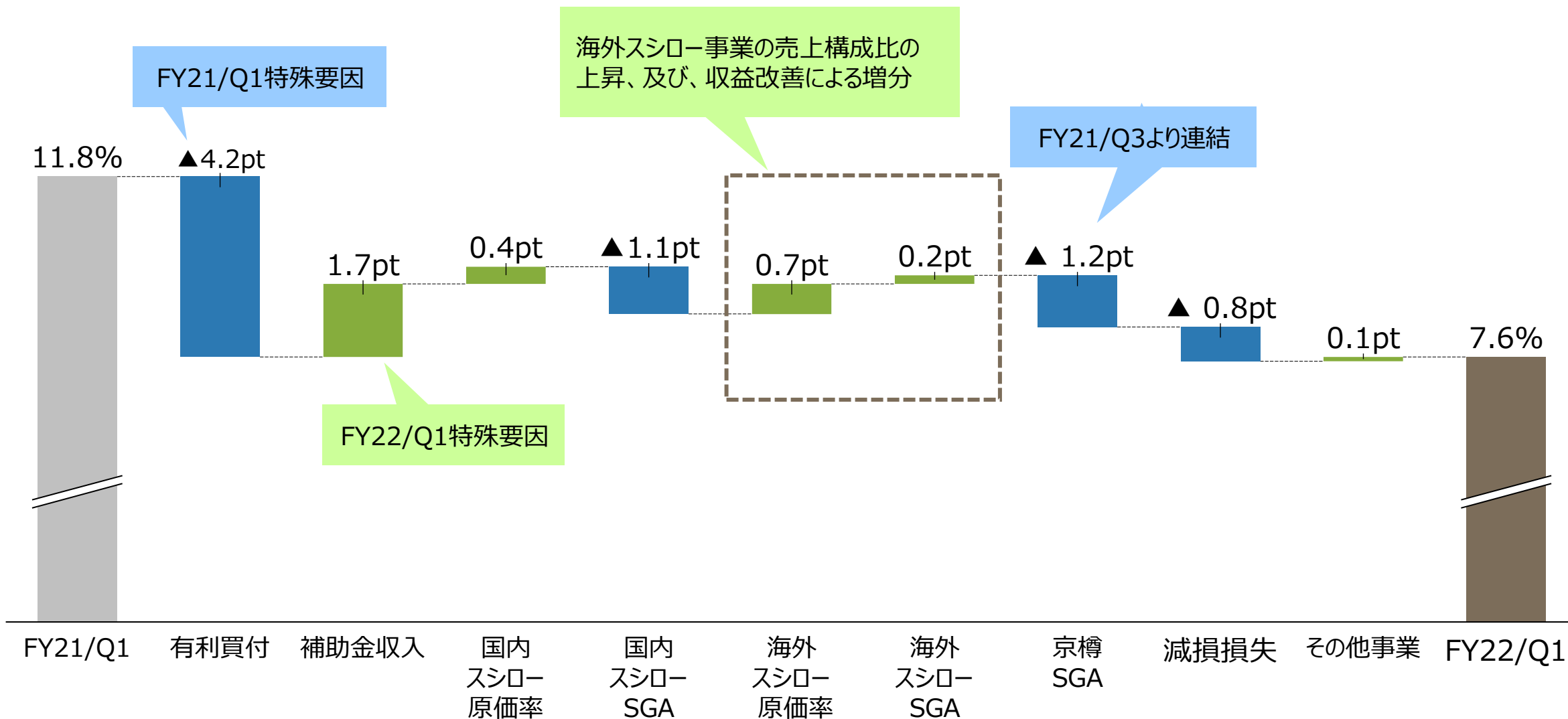
[連結] 業績ハイライト FY22/Q1

- 海外スシロー事業の成長と2021年4月に買収した京樽の業績の反映により、四半期単位では過去最高の売上収益を達成。一方で、一過性であった有利買付効果がなくなり、前年同期比では減益の結果となった。
- 中期経営計画における成長ドライバーである海外スシロー事業が躍進し、今後に手ごたえを感じる結果となったが、京樽事業は間接部門の統合効果は出始めているが、コロナ影響からの売上回復に課題が残り、各種リニューアル施策費用もかさんでおり、立て直しを急ぐ。

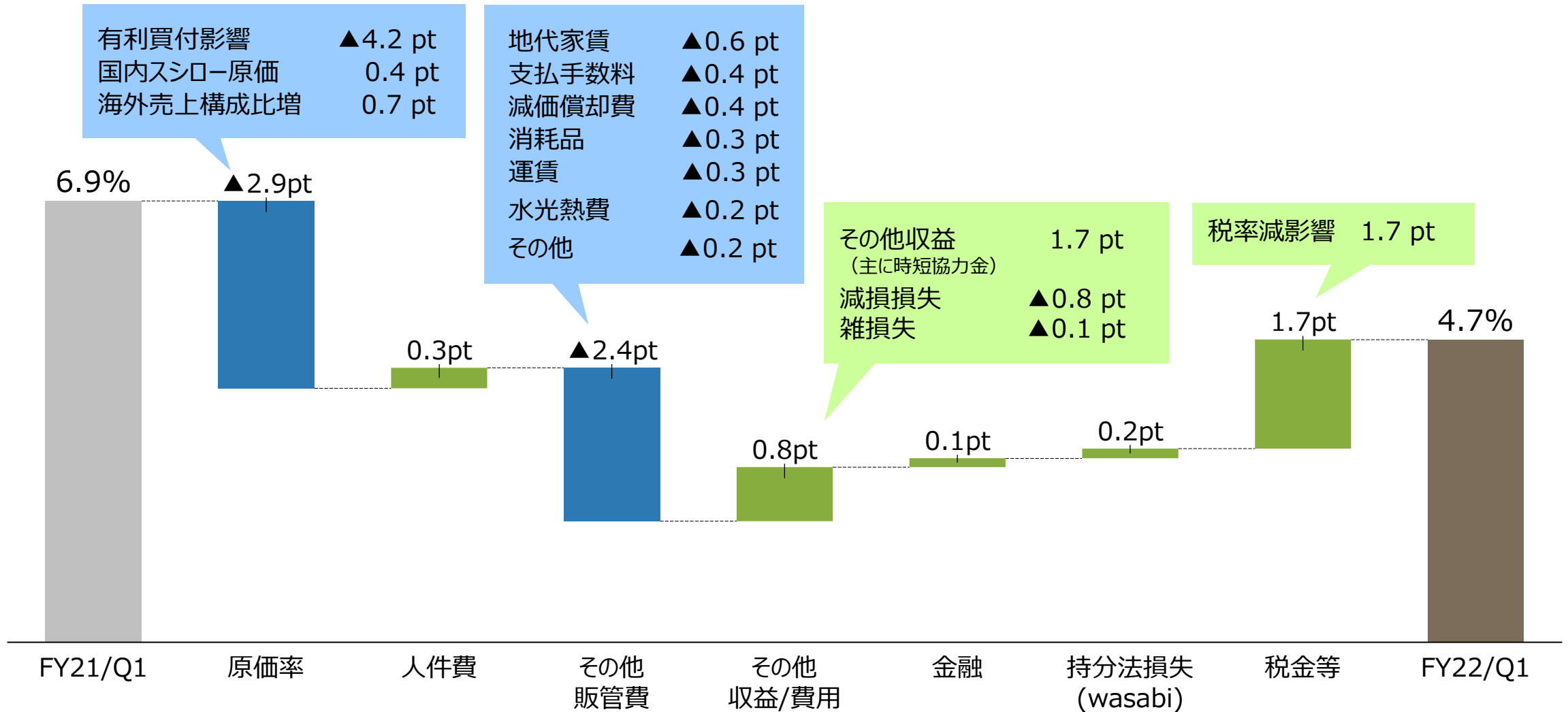
(単位: 百万円)	FY21/Q1		FY22/Q1		前年比	進捗率*
	実績	売上比	実績	売上比		
売上収益	59,529	—	71,601	—	+ 20.3%	23.1%
営業利益	7,008	11.8%	5,469	7.6%	▲ 22.0%	26.0%
税前利益	6,656	11.2%	5,255	7.3%	▲ 21.1%	27.7%
当期利益	4,091	6.9%	3,388	4.7%	▲ 17.3%	28.2%
売上原価	26,267	44.1%	33,668	47.0%	+ 2.9pt	—
店舗数	642	—	1027	—	+ 385	—

* 2021年11月発表の業績予想比

[連結] 営業利益 変化要因分析 FY21/Q1 対比



[連結] 当期利益 変化要因分析 FY21/Q1 対比



[連結] 財務状況

連結財政状態計算書

(単位：百万円)	FY21/9	FY22/Q1	増減
流動資産	48,841	43,195	▲5,646
[現預金]	[29,367]	[24,411]	[▲4,957]
非流動資産	247,159	250,628	3,469
[のれん]	[30,541]	[30,541]	[-]
資産	296,001	293,823	▲2,178
流動負債	59,860	57,641	▲2,218
[借入金]	[4,009]	[4,009]	[-]
非流動負債	172,568	173,173	605
[社債及び借入金]	[58,896]	[57,899]	[▲997]
負債	232,428	230,814	▲1,614
資本	63,573	63,009	▲564
負債資本	296,001	293,823	▲2,178
自己資本比率	21.3%	21.2%	▲0.1pt
Net Debt/EBITDA	1.6x	1.5x	▲0.1x

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)	FY21/Q1	FY22/Q1	増減
営業CF	5,885	8,139	2,254
投資CF	▲4,252	▲4,437	▲185
財務CF	14,544	▲8,864	▲23,408
キャッシュ増減	16,177	▲5,162	▲21,339

■連結BS

資産：(主な増加)有形固定資産(主な減少)現預金

負債：(主な増加)営業債務及びリース負債
(主な減少)未払法人税等及び引当金

資本：(主な増加)四半期利益(主な減少)自己株式及び配当支払

■連結CF

営業CF：営業債権等減少額FY21/Q1対比51億円増加(主に時短協力金回収)

投資CF：出店/省人化投資継続により投資支出増加

財務CF：FY21/Q1は普通社債200億円調達あり。FY22/Q1は自己株取得支出20億円

■経営指標

自己資本比率及びNetDebt/EBITDAは、前期末より大きな変動なし。

ROEについてはFY21/Q1：7.9%→FY22/Q1：5.4%と低下(減益の影響)

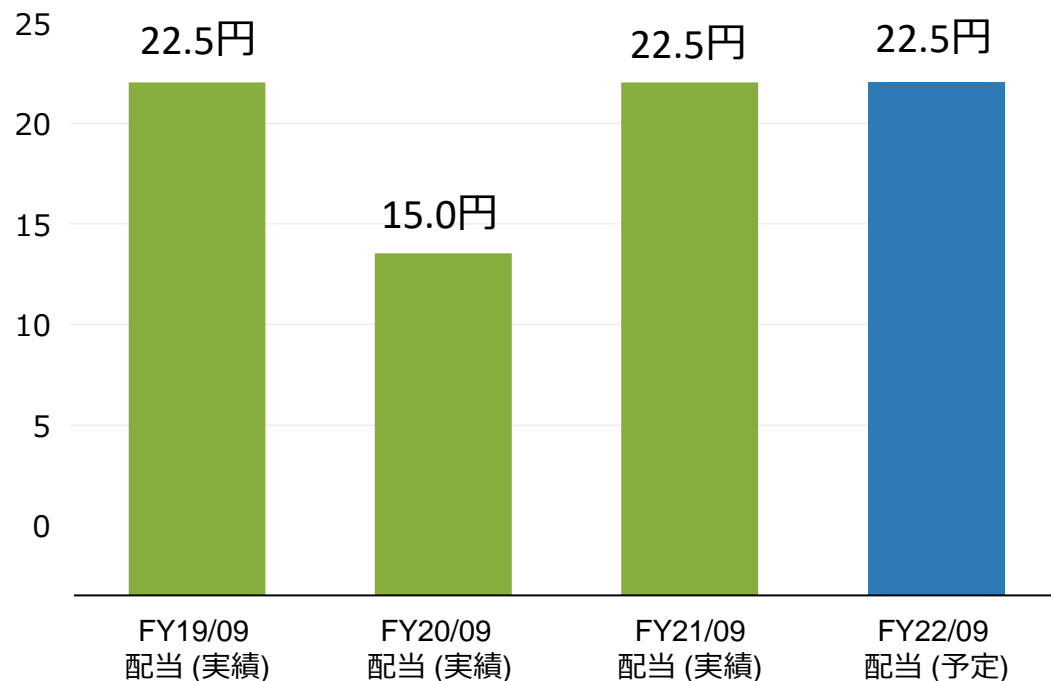
[全社] 国内・海外の出退店実績

	FY21 期末 店舗数	FY22/Q1			Q1末 店舗数
		OPEN	CLOSE	増減	
郊外型	564	+ 9		+ 9	573
都市型	31	+ 2		+ 2	33
テイクアウト専門	15	+ 5		+ 5	20
[国内] スシローブランド	610	+ 16		+ 16	626
[国内] 杉玉ブランド*	39	+ 6		+ 6	45
[国内] 京樽ブランド (テイクアウト専門)	154	+ 4	▲1	+ 3	157
[国内] 回転寿司みさき (海鮮三崎港)・ 三崎丸 ブランド	106		▲1	▲ 1	105
通常型	58	+ 4		+ 4	62
テイクアウト専門	1	+ 1		+ 1	2
[海外] スシローブランド	59	+ 5		+ 5	64
その他のブランド	31		▲1	▲ 1	30
全社 計	999	+ 31	▲3	+ 28	1,027

株主還元について

配当

- 2020年4月1日に1株につき4株の割合で株式分割を実施（過去実績も分割後に合わせて記載）
- FY22/9は1株当たり22.5円の配当を予定（配当総額26億円を予定）



株主優待

種類

国内のスシロー・杉玉全店舗・(株)京樽が運営する全ブランド（※一部店舗を除く）で利用できる優待割引券

保有株数/ 贈呈金額

※贈呈金額は
2021年3月末日
基準日以降分

以下の保有株式数に応じて、年2回、国内店舗で利用可能な優待割引券を贈呈。

- 100株 ~ 199株: 年間 2,200円分**
1,100円（9月末日基準日）、1,100円（3月末日基準日）
- 200株 ~ 399株: 年間 3,300円分**
1,650円（9月末日基準日）、1,650円（3月末日基準日）
- 400株 ~ 799株: 年間 4,400円分**
2,200円（9月末日基準日）、2,200円（3月末日基準日）
- 800株 ~ 1999株: 年間 8,800円分**
4,400円（9月末日基準日）、4,400円（3月末日基準日）
- 2,000株 ~ : 年間 22,000円分**
11,000円（9月末日基準日）、11,000円（3月末日基準日）

使用 条件

- 会計金額1,100円（税込）毎に550円の優待割引券のご利用が可能
- 他の割引券との併用可能
- スシローのお持ち帰りネット注文・デリバリーではご利用頂けません。



FOOD & LIFE
COMPANIES

本件に関する注意事項

本資料は、株式会社FOOD & LIFE COMPANIES（以下「当社」）の企業情報等の提供のために作成されたものであり、日本、米国その他の法域における当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。

当社は、本資料に含まれる情報または意見の公平性、正確性、完全性または正当性について、明示的または黙示的に表明または保証をするものではありませんので、これらに依拠することのないようお願いいたします。本資料の使用または内容等に関して生じたいかなる損害について、当社は一切の責任を負いません。また、本資料の内容は事前の通知なく大幅に変更されることがあります。

本資料は、本資料の作成時点における業界、市場動向または経済情勢等に基づき作成されたものであり、その後が発生する事象に基づき影響を受ける可能性があります。当社は、それらの情報を最新のものに更新するという義務を有していません。

本資料には、当社の現在の見通し、予想、目標、計画などを含む将来に関する見通しが含まれています。このような将来に関する見通しは、経営陣による将来の業績の保証を表すものではありません。これらの見通しは、将来の予想を議論し、戦略を特定し、経営成績または当社の財務状態の予測を含み、または当社の事業および業界、将来の事業戦略ならびに将来において当社が営業を行う環境に関する当社の現在における予想、想定、見積もりおよび予測に基づくその他の将来に関する情報を記載するものです。既知および未知のリスク、不確実性およびその他の要因により、当社の実際の業績は、将来に関する見通しに記載されまたは示唆されるものとは大幅に異なる可能性があります。当社は、これらの将来に関する見通しに記載される予想が正確なものであることを保証することはできません。実際の業績は予想とは大幅に異なる可能性があります。